

日本維新の会の辻信行です。

早速、質問に入らせていただきます。

市民の心情に寄り添ったペット対応についてお聞きします。

これまでの、委託業者がペットのご遺体とごみ処理券を受け取る方法から、職員が直接ご家庭を訪問し、現金で手数料をいただきペットのご遺体を引き受けるという市民の心情に寄り添った対応へ変更し、市民サービスの向上を図るということですが、お聞きします。

1. これまで委託業者は、引き取ったペットはクリーンセンターで一般家庭ゴミとして焼却するということを説明し、飼い主の方は理解された上で引き渡してきたのでしょうか？
2. 家族として暮らしてきたペットの最後が、クリーンセンターで一般家庭ゴミとして焼却されるという事が、市民の心情に寄り添ったペット対応と言えるのでしょうか？

3. 民間事業者によりペットの最後を家族として手厚く^{とむら}吊ってくれる環境があるなかで、市民の心情に寄り添うと言って、あえて行政が関わるのであれば、動物専用の火葬炉と動物専用の火葬炉を設置するところまでして初めて、市民の心情に寄り添うと言えるのではないかと思います。いかがでしょうか？

たばこ対策推進事業についてお聞きします。

事業概要に、歩きたばこと吸い殻のポイ捨て禁止の徹底や、路上喫煙禁止区域での喫煙マナーの向上を通じて、まちの美化と望まない受動喫煙を発生させないまちづくりに向けた啓発活動体制を構築し、指導強化に取り組むとあります。そこでお聞きします。

1. 法律上問題はないですが、市役所の喫煙所を含めて、現在設置されている喫煙所の構造では実際のところ、受動喫煙は発生していますが、それでよいと考えますか？

2. 令和 6 年度に 6 駅に、路上喫煙禁止区域を拡大し、喫煙所を整備するとありますが、禁止区域を設定し喫煙所の設置ができなかった場合、電車に乗る前の最後の一服ができず、ストレスがたまるのでは？また駅周辺に接する地域での喫煙・ポイ捨てタバコが増える可能性については、いかがお考えでしょうか？

防災対策事業についてお聞きします。

阪神大震災以降災害が発生するたびに指定避難場所でのトイレ・水・寒さ対策などの課題・問題が発生し、問題解決に至っていないですが、本市で同じような災害が発生した場合、本市がとっている対策で問題が発生しないか非常に心配です。日本における、災害発生時の指定避難場所である学校体育館での避難生活は、世界的にみて劣悪と言われており「体育館を避難所にする先進国なんて存在しないとまで言われています。そこでお聞きします。

1. 本市の指定避難所である体育館には、空調設備の必要性について優先順位が低く設置する予定もなく、応急給水栓、マンホールトイレの設

置が完了していない状況です。明日災害が発生する可能性もある中、本市の防災対策にかかる予算は十分でしょうか？

2. 定住・転入促進に力を入れている本市としては、災害発生時でも「安全・安心」というのは条件の一つになると思いますが、他市と比べて防災対策で自慢できる点はありませんでしょうか？

いつ災害が起こるかわかりません。

新しく張り替える避難誘導板・案内板の整備は、いつ完了するのかお聞かせください。

次に、災害時の外国籍住民と外国人観光客への対応について

新しい避難誘導板には、QRコードをつけて外国人にも対応すると、聞いていますが、外国籍住民への周知の方法などを教えてください。

災害時、外国籍住民の方は、不安に思っています。いま一度、情報共有をしていただきたいと思いますと思いますが、ご見解をお聞かせください。

災害時、外国人観光客の対応方法を具体的にお聞きしました、市のホームページや国が示しているアプリを利用してくださいとのことです。

お伺いします。

能登半島地震でも問題になりましたが、地震発生時、電波障害で携帯電話が使えない、携帯電話の充電ができない問題がありました、こういった状況での対応策をお聞かせください。

次に、駅周辺の賑わいづくりについてお伺いいたします。

駅前広場などの駅周辺の公共空間を、交流やイベントができる場へと発展させていくために使っていただくことが重要だと考えています。と代表質疑で答弁をいただきました。

お伺いします。

阪急塚口駅前広場は、すでに利用していますが、利用頻度を増やす取り組みや担い手づくりの取り組みを具体的にお聞かせください。

また、阪急園田駅の「仮の広場」を実験的に使っていただくことを始めると聞いています。

仮の広場を利用したいとどこに申し込みをしたらいいのか、もうすでに申し込みがあるのか、教えてください。

次に、放課後日本語ボランティア派遣事業についてお伺いします。

日本語に課題のある外国にルーツを持つ児童に対し、放課後学習の時間等を利用して、日本語ボランティアを派遣する事業です。

お伺いします。

日本語能力が不十分である児童(小学1年生～3年生)が対象で、今年度3人となっていますが、3人の生徒の選定調整は、もう目途があり調整は終わっていますか、選定基準のやり方も合わせてお聞かせください。

また、日本語ボランティアの先生の選定方法、何人雇うのかお聞かせください。

次に、県道の新設改良事業についてお伺いします。

尼宝線の阪急陸橋工事・園田西武庫線・産業道路阪神尼崎駅周辺の拡幅工事等、県の道路課との調整が課題だと思います。市民の声を丁寧に県に伝えていただきたいと思います。

お伺いします。

万博が開催されますと県のフェニックス用地が駐車場になると聞いています。県道の五合橋線が大渋滞になると思いますが、関係機関との調整状況をお聞かせください。

次に、交通政策推進事業についてお伺いします。

園田西武庫線みたいに、新設道路が開設すると、車の流れが変わりバスの運行路線も変わると思います。お伺いします。

バス停も新たに作ると思います、阪神バスとの調整は進んでいるかお聞かせください。

信号機・横断歩道の問題も出てきます、近隣住民との調整状況をお聞かせください。